

〔クロチアニジン・スピネトラム・
イソチアニル粒剤〕

農林水産省登録 第23511号

性 状：類白色細粒

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：5 年

包 装：1 kg×12 袋、12 kg×1 袋

箱 王 子[®] 粒 剤

有効成分：クロチアニジン……………1.5% スピネトラム……………0.50%
イソチアニル……………2.0%



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報：こちらのQRコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報をご覧になれます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類 フタオビコヤガ コブノメイガ ニカメイチュウ イネツトムシ 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種前	本 剤：1回 クロチアニジン：4回 (#1) スピネトラム：3回 (#2) イソチアニル：3回 (#3)	育苗箱の床土または覆土に均一に混和する
	イネヒメハモグリバエ		は種時 (覆土前) ～移植当日		育苗箱の上から均一に散布する
	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病		移植3日前 ～移植当日		育苗箱の床土または覆土に均一に混和する
			は種時 (覆土前)		育苗箱の上から均一に散布する
湛水直播稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イネツトムシ キリウジガガンボ	1kg/10a	は種時	本 剤：1回 クロチアニジン：4回 (#4) スピネトラム：3回 (#5) イソチアニル：3回 (#6)	は種同時施薬機を用いて土中施用する

- #1：移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回
- #2：移植時までの処理は1回、本田での散布は2回
- #3：移植時までの処理は1回、本田では2回
- #4：は種時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回
- #5：は種時までの処理は1回、本田での散布は2回
- #6：は種時までの処理は1回、本田では2回



効果・薬害等の注意

- 床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用する。また、本剤を処理した床土または覆土を放置しない。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植する。

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には葉害を生じるおそれがあるので注意する。
- 本田の整地が不均整な場合は葉害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しない。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布する。
また、土壤全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壤への浸透をさける。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

- いもち病と主要な水稻害虫に優れた効果を発揮します。
- は種前から移植当日まで、幅広い使用時期です。
- イネに対して安全性が高いです。